



特定非営利活動法人

日本がん・生殖医療研究会

# がんと生殖に関する シンポジウム 2015

～小児・若年がん患者さんの妊孕性温存について考える～

日時

**2015年2月8日(日) 9:00～16:05**

会場

**ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター  
(グランフロント大阪 北館B2)**

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪内 Tel.06-6292-6911

参加費

**5,000円**

世話人

**筒井 建紀** (JCHO大阪病院 産婦人科)

**井上 朋子** (IVFなんばクリニック)

**三善 陽子** (大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)



# がんと生殖に関するシンポジウム2015

～小児・若年がん患者さんの妊孕性温存について考える～

## プログラム

日時：2015年2月8日(日) 9:00～16:05 (受付開始 8:20～)  
会場：ナレッヅキャピタル コングレコンベンションセンター(グランフロント大阪 北館B2)

- 9:00～ 9:10 **Opening Remarks**  
吉村 恭典 先生 (慶應義塾大学医学部産婦人科 名誉教授)  
大藺 恵一 先生 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学 教授)
- 9:10～ 9:40 **がん・生殖医療に関する本邦の問題点**  
鈴木 直 先生 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授)
- 9:40～10:10 **小児の卵巣凍結について—滋賀医科大学での経験から—**  
木村 文則 先生 (滋賀医科大学産婦人科 講師)
- 10:10～10:40 **妊孕性の温存ならびに再建における生殖医療の展望**  
菅沼 信彦 先生 (京都大学大学院医学系研究科人間健康科学系専攻 教授)
- 10:40～10:50 休憩
- 10:50～11:20 **小児がん患者の性腺機能と妊孕性の現状**  
三善 陽子 先生 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学 助教)
- 11:20～11:50 **小児固形腫瘍患者における晩期障害の現状**  
福澤 正洋 先生 (大阪府立母子保健総合医療センター 総長)
- 11:50～12:10 休憩
- 12:10～13:00 **ランチョンセミナー (共催:ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)**  
**病気になっても、将来お母さんになれるの？**  
演者: 菊地 盤 先生 (順天堂大学医学部附属浦安病院産婦人科 前任准教授)  
座長: 木村 正 先生 (大阪大学大学院医学系研究科産婦人科 教授)
- 13:00～13:20 休憩
- 13:20～13:50 **小児がん治療後の長期フォローアップ**  
前田 美穂 先生 (日本医科大学小児科学 教授)
- 13:50～14:20 **小児・若年がん患者の泌尿器科的問題点**  
辻村 晃 先生 (順天堂大学泌尿器科学教室 前任准教授)
- 14:20～14:30 休憩
- 14:30～15:00 **生殖医療における法律上の問題点～子の福祉の優先**  
二宮 周平 先生 (立命館大学法学部 教授)
- 15:00～15:30 **卵子提供の実際と現状**  
岸本 佐智子 氏 (卵子提供登録支援団体(OD-NET)代表)
- 15:30～16:00 **元白血病患者から生殖医療に期待すること**  
大谷 貴子 氏 (こうのとりのマリーン基金 顧問)
- 16:00～16:05 **Closing Remarks**  
竹原 祐志 先生 (慶愛クリニック 院長)  
森本 義晴 先生 (IVF JAPAN CEO)